

県民生活に関する世論調査の結果について

- 1 調査主題 暮らし向きと県の広報広聴等に関する県民意識
- 2 調査目的 「暮らし向き」と県の「広報広聴活動」等に関する県民の意識や要望などを把握し、今後の行政推進の参考とする。
- 3 調査設計
 - 1) 調査地域 愛媛県全域
 - 2) 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女
 - 3) 回答者数 400人
 - 4) 調査方法 インターネットを利用したアンケート調査
 - 5) 調査時期 令和8年1月22日～2月2日

4 概要

問1 県の広報活動の周知度

- ・「テレビ広報番組 えひめの愛顔発信 #ひめ推し（南海放送）」40.5%
→男女ともに最多。18歳～29歳・40歳代・60歳代以上で最多。松山圏域・西条・新居浜・宇摩圏域・今治圏域で最多。
- ・「県公式ホームページ」39.0%
→30歳代・50歳代で最多。宇和島圏域・八幡浜・大洲圏域で最多。
- ・「広報紙「愛顔のえひめ」（新聞折り込みによる広報紙）」32.5%

問2 県のテレビ広報番組の視聴経験

- ・「見たことがある」38.0%
- ・「見たことがない」62.0% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

問2-1 県のテレビ広報番組の視聴方法

- ・「テレビ放送」94.1% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「県または南海放送のYouTube」5.9%

問2-2 県のテレビ広報番組を知ったきっかけ

- ・「テレビ」75.3% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「ホームページ」5.5%
- ・「Youtube」5.0%

問3 県のラジオ広報番組の聴取経験

- ・「毎日こみきちゃん便り（南海放送ラジオ）」11.5%
- ・「聞いたことがない」88.5% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

◆「毎日こみきちゃん便り（南海放送ラジオ）」が2.5%増

問3-1 ラジオ広報番組を聞いての感想

- ・「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」39.1%
→女性で最多。30歳代、40歳代、50歳代で最多。松山圏域、今治圏域、八幡浜・大洲圏域で最多。
- ・「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」45.7%
→男性で最多。18～29歳、50代、60代以上で最多。今治圏域、八幡浜・大洲圏域を除いて最多。
- ・「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」10.9%
- ・「番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」4.3%

◆「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」は前回調査比11.3%増。「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」は前回調査比9.9%減。

問3-2 ラジオ広報番組を聞いたことがない理由

- ・「放送されていることを知らなかった」70.6%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」14.1%
- ・「広報番組は画一的でおもしろみがなく、聞く気がしない」6.2%

問4 広報紙の周知度

- ・「知っていた」34.3%
- ・「知らなかった」65.8% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

問4-1 広報紙への関心度

- ・「全体をよく読んでいる」10.9%
- ・「興味のあるところを選んで読んでいる」56.2%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域以外で最多。
- ・「見出し程度しか読まない」12.4%
- ・「ほとんど読むことはない」15.3%
- ・「まったく読まない」5.1%

◆「全体をよく読んでいる」は前回調査比7.2%減。「興味のあるところを選んで読んでいる」は前回調査比16.2%増。

問4-2 広報紙を見ての感想

- ・「紙面は見やすく、情報量も適当である」47.4%
→男女共に最多。18～29歳で最多。今治圏域で最多。
- ・「紙面は見づらいが、情報量は適当である」19.7%
- ・「紙面は見やすいが、情報量が少ない」19.7%
- ・「紙面は見づらく、情報量も少ない」3.6%

◆「紙面は見やすく、情報量も適当である」は前回調査比10.7%減。「紙面は見づらいが、情報量は適当である」は前回調査比5.5%増。

問5 県公式ホームページの周知度

- ・「見たことがある」32.0%
- ・「見たことがない」68.0% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

◆「見たことがある」は前回調査比9.0%減。「見たことがない」は前回調査比9.0%

増。

問5-1 県公式ホームページの閲覧頻度

- ・「週に1回以上見ている」9.4%
- ・「月に1回以上見ている」23.4%
- ・「1年に1回以上見ている」36.7%
- ・「ほとんど見ない」30.5%

問5-2 県公式ホームページを見ての感想

- ・「見やすく、情報量も適当である」47.7%
→男女共に最多。全年齢層で最多。宇和島圏域以外で最多。
- ・「見づらいが、情報量は適当である」23.4%
- ・「見やすいが、情報量が少ない」18.8%
- ・「見づらく、情報量も少ない」6.3%

◆「見やすく、情報量も適当である」は前回調査比2.3%減。「見やすいが、情報量が少ない」は前回調査比7.2%増。

問6 県公式YouTubeや県公式SNSの周知度

- ・「県公式YouTube」11.8%
- ・「県公式LINE」10.3%
- ・「県公式X」6.3%
- ・「県公式Instagram」6.5%
- ・「県公式Facebook」3.8%
- ・「見たことがない」79.3% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

◆「見たことがない」は前回調査比4.5%増。

問6-1 県公式YouTubeや県公式SNSのフォロー状況

- ・「県公式YouTube」13.3% →宇和島、八幡浜・大洲圏域で最多。
- ・「県公式LINE」34.9% →女性で最多。50歳代で最多。
- ・「県公式X」12.0%
- ・「県公式Instagram」13.3% →宇和島圏域で最多。
- ・「県公式Facebook」7.2%
- ・「特にない」48.2%
→男性で最多。50歳代を除いた全年齢層で最多。全圏域で最多。

問7 広報誌で取り上げてほしいテーマ

- ・「県の行事・イベント・施設の紹介」56.5%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「消費生活や暮らしに関すること」37.3%
- ・「災害対策に関すること」24.3%

◆「消費生活や暮らしに関すること」は前回調査比4.8%増。「災害対策に関すること」は前回調査比5.5%減。

問8 県政情報の情報源

- ・「テレビ」46.0% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

- ・「県の広報番組（テレビ）」28.0%
- ・「県の広報紙」21.0%

問9 今後の広報活動の取組み

- ・「県の広報番組（テレビ・ラジオ）の充実（放送回数や放送時間の増）」40.3%
→男女共に最多。18～29歳代以外で最多。全圏域で最多。
- ・「県の広報紙の充実（発行回数やページ数の増）」30.0%
→八幡浜・大洲圏域で最多。
- ・「県のホームページの充実」23.0%

問10 県政について知りたい情報

- ・「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」28.3%
→女性で最多。18～29歳、30歳代、40歳代で最多。今治、宇和島圏域で最多。
- ・「県の行事や催しものなどのお知らせ」28.0%
→男性で最多。30歳代、50歳代、60歳代以上で最多。松山、西条・新居浜・宇摩圏域で最多。
- ・「県の予算の内容と使いみち」22.3%

◆「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」は前回調査比4.0%減。「県の行事や催しものなどのお知らせ」は前回調査比3.2%増。「県の予算の内容と使い道」は前回調査比3.0%増

問11 現在の愛媛県のイメージ

- ・「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」58.0%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「不便である」31.5%
- ・「後進的である」20.0%

◆「後進的であるが」が上位3位内となり、「物価が安い」が上位3位外。

問12 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

- ・「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」40.3%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「経済や産業が盛んである」30.3%
- ・「物価が安い」27.3% →20歳代以下で最多。

◆「経済や産業が盛んである」が上位3位内となり、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が上位3位外。

問13 県政への要望（教育面）

- ・「学校教育の充実」29.8%
→男女共に最多。50歳代を除いて最多。全圏域で最多。
- ・「社会教育の充実」21.5% →50歳代で最多。
- ・「芸術、文化の振興」17.0%